

協働がつくる

わたしたちのまち

16

地域とともに歩むサッカークラブ

葵のエンブレムと水戸の誇りを胸に、サッカーJ2で戦う水戸ホーリーホック。力強くピッチを駆ける選手たちの姿は、私たちに熱い感動を与えてくれます。

東日本大震災の後、選手たちはチーム再開の目的が立たない中で、災害ボランティアとして、がれきの撤去や支援物資の運搬などを行いました。さらに、被災した方たちを励ますため、「地域の人たちを元気づけたい」と避難所を訪問。一緒にサッカーを楽しむ子どもたちのはつらつとした笑顔

鈴木隆行選手
(FW・背番号30)
のコメント



地域の皆さんとの関わりをとて大切に思っており、一緒に地域活動をしているとき、このチームの一員なんだと実感します。

東日本大震災によって、大きな被害を受けた皆さんを勇気づけるためにも、柱谷監督を中心に、チーム一丸となって頑張ります。

水戸ホーリーホック



代表取締役社長の
沼田邦郎さん

からは、明るい歓声が響きました。

また、小学校などでのサッカー教室をおした地域交流をはじめとして、大学、企業なども協働してさまざまな取組みを進めています。最近では、常盤大学や地域の方と連携して行ったホームゲームイベントによって、皆さんの協働に向けた取組み意識がさらに高まりました。

沼田邦郎社長は、「これからも地域とともに歩み、市民の皆さんに愛されるサッカークラブとして、いろいろな場面で活動し貢献していきたい」と



災害ボランティアとして活動

話します。今シーズンはすでに、8月までに136回のイベントに参加。ピッチの外でも、地域を元気づけ、勇気づけるプレーが光ります。

問合せ FC水戸ホーリーホック ☎21

2・7700、地域振興課 ☎232・9

105

がんばれ！ ホーリーホック

問合せ/FC水戸ホーリーホック(☎212-7700)
または地域振興課(☎232-9105)

ホームゲーム情報

- 10/16(日) 13:00
第31節 対 東京ヴェルディ
- 10/19(水) 19:30
第6節 対 ジェフユナイテッド千葉
- 10/30(日) 13:00
第33節 対 ザスパ草津

7勝7分14敗 勝点28
順位18位 第30節終了時点



昨年10月に観客1万人を達成

「ケースデンキスタジアム水戸」の復旧工事が完了

水戸ホーリーホックのホームスタジアム「ケースデンキスタジアム水戸」は、3月11日に発生した東日本大震災によりメインスタンドが被災しました。メインスタンド修復のため、通常1万2千人収容のスタジアムを5千人に縮小し、試合を開催してきました。



被災したスタジアムで、試合に臨む選手たち

そして、震災から7か月。多くの皆さんにご尽力をいただき、メインスタン

ドの修復工事が完了。10月16日(日)から、晴れて震災前の状態で皆さんをお迎えできることになりました。

ぜひ選手たちの熱いプレーを見に、ご来場ください。

自分の「家」が戻ってきた、そんな気持ちです。メインスタンドにも応援してくれる方々の「顔」が見えることをうれしく思います。勝利で皆さんと喜びを分かち合いたいで、応援よろしくお願ひします。



本間幸司選手
(GK・背番号1)